



期間 令和4年10月22日(土)~12月17日(土) [全5回]

実施場所 北九州市立生涯学習総合センター(第3回のみ旧安川邸)
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43 (戸畑区一枝1-4-23)

申込・問合せ先 北九州市立生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL:571-2735 FAX:571-0943

時間 10:00~12:00

応募締切

10月7日(金)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 30名

受講料 1,000円
(別途、施設入館料)

受講生への
メッセージ

コーディネーター:好きになっちゃりい 北九州実行委員会 委員長 瓜生 紀美子

今年の「好きになっちゃりい北九州Vol.14」のテーマは「～明日(あした)へ～」です。市内各地各方面で地道に頑張っておられる方々、市内の名所再発見、市民支援スポーツなどの視点から、いろいろなお話を準備しました。「明日への北九州」を、いろいろな視点から考えてみましょう。

※「好きになっちゃりい北九州実行委員会」は北九州市民カレッジ受講者の有志が「北九州」をテーマに企画・運営するボランティアグループです。

(瓜生紀美子・江口春美・大石素子・大島孝博・斉藤あけみ・斉藤若恵)

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	10/22 (土)	若松産ホップを使った地ビールでSDGsまちづくり 響灘の潮風を受けて育ったフレッシュなホップで作った地ビール。生産から3年目となり、北九州のSDGs活動に繋がる『響灘ホップの会』の取り組みについてお話を聞いてみましょう。	響灘ホップの会 事務局 安枝 裕司 建築設計や大学技官の経験を活かし、北九州の資源を活かす市民参加型のまちづくりを実践。響灘ビオトープ園長。
2	11/5 (土)	九州独立プロ野球リーグ「福岡北九州フェニックス」について 今期の試合の成績などを振り返りながら今後のチームの動向などをお知らせします。	福岡北九州フェニックス(株) チーフディレクター 河西 智之 香川県丸亀市出身、弁護士 令和3年6月より、福岡北九州フェニックス設立の為、東京から北九州市へ移住。球団運営を行っている。
3	11/19 (土)	現地見学 戸畑「旧安川邸」を訪ねる 安川敬一郎は「筑豊御三家」の炭鉱王の一人で工業都市北九州の基礎を築いた企業家です。三世代にわたり居住した邸宅が2018年有形文化財に指定されました。近代建築史上重要な「旧安川邸」をたずね、工業都市北九州の歩みを学びます。 (施設入館料:200円(予定))	いのちのたび博物館 学芸員・歴史課長 日比野 利信 北九州市及び福岡県の近現代史を研究。博物館の学芸員として、資料の収集や調査、展覧会の企画実施など様々な業務に取り組んでいる。
4	12/3 (土)	自主「夜間中学」って知っていますか? 北九州市内には、現在2つの自主「夜間中学」(夜間学級)があります。様々な理由で義務教育を十分に受けられなかった人々が学んでいます。その成り立ちや学んでいる人たちの様子を knowing、学びの意義を考えてみましょう。	市内自主「夜間中学」 発起人 林 静一路 公立中学校教員を退職後、義務教育未履修者の存在を知り自主「夜間中学」設立に奔走する。
5	12/17 (土)	「巨過市場の整備及び今後の取り組み」について 本年度2度の火災に見舞われた巨過市場。その復興と今後の再建計画などについて、市の担当者にお話を聞いてみます。	北九州市建設局神嶽川 巨過地区整備室 草野 尚嗣 巨過地区の再整備と神嶽川の改修の市の担当者として活動されています。